

21004	<h2 style="text-align: center;">人間福祉演習 II h</h2> <p style="text-align: center;">Seminar on Human Welfare II</p>		4 年次 通年 4 単位		
担当者	望月 珠美	履修可能学科	W必		
		関 連 資 格			
サブタイトル	人生を「語り」つむぐ				
授業内容 ・ ねらい	<p>「自己」「かかわり」「表現」の3つをゼミナール共通のキーワードにして、自己理解とともに現代社会における諸課題についての理解を深めていくことをめざします。</p> <p>具体的には、個人での取り組みを原則とし、これまでに学んできた心理学研究の方法や倫理等を踏まえながら自らが定めた研究テーマにそって研究をデザインし、卒業研究と連動させながら論文執筆を行ないます。</p> <p>このゼミナールでは、計画的かつ科学的な視点を持ちながら段階的に研究を行い、その成果を（口頭および論文）発表することをめざします。研究のテーマは、これまでのゼミナールでの学びや取り組みを踏まえ、各自の興味、関心、将来像等にに応じて自由に設定します。ただし、研究内容には必ず、「語り」と関連する取り組みを含めることとします。</p> <p>人間福祉演習 I に続いてこのゼミナール共通の合言葉となる「語り」を接点として研究の進捗状況の定期報告の場ともなるゼミナールにおいて積極的な議論、討論を重ねることを通して課題への理解を深めると共に、他のメンバーによる研究内容を知ることを通して幅広い視野を養っていくことをめざしましょう。</p>				
授業計画	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 研究テーマの設定 3. 研究デザインの立案 (1) 4. 研究デザインの立案 (2) 5. 研究デザイン発表 6. 先行研究の活用とまとめ (1) 7. 先行研究の活用とまとめ (2) 8. 取材体験 (1) 取材計画 9. 取材体験 (2) 実践 10. 取材体験 (3) まとめと報告 12. 先行研究のまとめ (3) 13. 討論 (1) 「語り」をテーマにした論文 1 14. 討論 (2) 「語り」をテーマにした論文 2 15. 研究中間報告 (1) と研究のリデザイン </td> <td style="width: 50%; border: none; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション (研究倫理を中心に) 2. 研究中間報告 (2) 3. 討論 (1) 「かかわり」をテーマにした論文 1 4. 討論 (3) 「かかわり」をテーマにした論文 2 5. 討論 (3) 「かかわり」をテーマにした論文 3 6. 討論 (4) 「表現」をテーマにした論文 1 7. 討論 (5) 「表現」をテーマにした論文 2 8. 研究中間報告 (3) 9. 討論 (6) 「表現」をテーマにした論文 3 10. 結果の解釈 1 11. 結果の解釈 2 12. 考察の仕方 1 13. 考察の仕方 2 14. 最終報告 15. 論集の作成とまとめ <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">*夏休み中にゼミナールを行った場合、後期の授業該当時間を個人学習の時間とし時間調整を行います。計画に記した内容は、前後することがあります。</p> </td> </tr> </table>			<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 研究テーマの設定 3. 研究デザインの立案 (1) 4. 研究デザインの立案 (2) 5. 研究デザイン発表 6. 先行研究の活用とまとめ (1) 7. 先行研究の活用とまとめ (2) 8. 取材体験 (1) 取材計画 9. 取材体験 (2) 実践 10. 取材体験 (3) まとめと報告 12. 先行研究のまとめ (3) 13. 討論 (1) 「語り」をテーマにした論文 1 14. 討論 (2) 「語り」をテーマにした論文 2 15. 研究中間報告 (1) と研究のリデザイン 	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション (研究倫理を中心に) 2. 研究中間報告 (2) 3. 討論 (1) 「かかわり」をテーマにした論文 1 4. 討論 (3) 「かかわり」をテーマにした論文 2 5. 討論 (3) 「かかわり」をテーマにした論文 3 6. 討論 (4) 「表現」をテーマにした論文 1 7. 討論 (5) 「表現」をテーマにした論文 2 8. 研究中間報告 (3) 9. 討論 (6) 「表現」をテーマにした論文 3 10. 結果の解釈 1 11. 結果の解釈 2 12. 考察の仕方 1 13. 考察の仕方 2 14. 最終報告 15. 論集の作成とまとめ <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">*夏休み中にゼミナールを行った場合、後期の授業該当時間を個人学習の時間とし時間調整を行います。計画に記した内容は、前後することがあります。</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 研究テーマの設定 3. 研究デザインの立案 (1) 4. 研究デザインの立案 (2) 5. 研究デザイン発表 6. 先行研究の活用とまとめ (1) 7. 先行研究の活用とまとめ (2) 8. 取材体験 (1) 取材計画 9. 取材体験 (2) 実践 10. 取材体験 (3) まとめと報告 12. 先行研究のまとめ (3) 13. 討論 (1) 「語り」をテーマにした論文 1 14. 討論 (2) 「語り」をテーマにした論文 2 15. 研究中間報告 (1) と研究のリデザイン 	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション (研究倫理を中心に) 2. 研究中間報告 (2) 3. 討論 (1) 「かかわり」をテーマにした論文 1 4. 討論 (3) 「かかわり」をテーマにした論文 2 5. 討論 (3) 「かかわり」をテーマにした論文 3 6. 討論 (4) 「表現」をテーマにした論文 1 7. 討論 (5) 「表現」をテーマにした論文 2 8. 研究中間報告 (3) 9. 討論 (6) 「表現」をテーマにした論文 3 10. 結果の解釈 1 11. 結果の解釈 2 12. 考察の仕方 1 13. 考察の仕方 2 14. 最終報告 15. 論集の作成とまとめ <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">*夏休み中にゼミナールを行った場合、後期の授業該当時間を個人学習の時間とし時間調整を行います。計画に記した内容は、前後することがあります。</p>				
教科書 参考書	教科書購入代として年間3000円程度かかる予定です。 参) やまだようこ編著 (2000) 『人生を物語る』ミネルヴァ書房,3000円、その他、適宜、紹介します。				
評価方法	テストは行いません。出席状況、発表や討論等に臨む態度、各種課題の提出とその取り組みの姿勢、学びの成果としての論文の内容等から総合的に評価します。				
事前準備学習 履修条件等	フィールドワークを行う場合には、別途、交通費や宿泊費がかかります。詳細については、ゼミナールの中で提案、相談の上、決定します。				